

人権ライブラリーニュースレター

Human Rights Library JAPAN

Vol.5

2016(平成28)年10月発行

(公財)人権教育啓発推進センター

人権ライブラリーは、法務省委託により(公財)人権教育啓発推進センターが運営しています。

人権啓発資料法務大臣表彰の受賞作品が決まりました!

全国の地方公共団体が作成した人権啓発資料の中から、特に優れた作品を選定し、表彰する「人権啓発資料法務大臣表彰」の受賞作品が次のとおり決まりました。

最優秀賞

<出版物>

あいサポート運動
ハンドブック
障がいを知り、
共に生きる
(制作者：鳥取県)
※映像による対応事例集
(DVD)もあります。



優秀賞

<出版物部門>

京都ユニバーサルデザイン
おもてなし手帖
多様なお客様をお迎えする
ためのヒント集
(制作者：京都府)



優秀賞

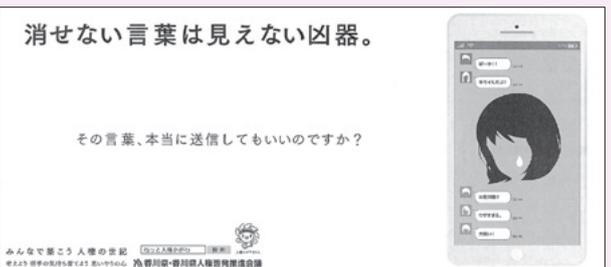
<ポスター部門>



私は、「この人!」
と思った。
家族は、「どこの人?」
と言った。
(制作者：香川県)

優秀賞

<新聞広告部門>



消せない言葉は見えない凶器。

その言葉、本当に送信してもいいのですか?

消せない言葉は
見えない凶器。
その言葉、本当に
送信してもいいのですか?
(制作者：香川県)

優秀賞

<映像作品部門>



光射す空へ
(制作者：北九州市)

受賞理由など、詳しくは人権ライブラリーホームページ (<http://www.jinken-library.jp/>) をご覧ください。

受賞作品は、法務省と当センターなどが主催する人権シンポジウムの会場等で展示するとともに、人権ライブラリーで貸出を行いますので、ぜひご活用ください。

人権啓発資料法務大臣表彰は、人権思想の普及高揚を図り、基本的人権の擁護に資することを目的に実施され、地方公共団体が作成した人権に関する啓発資料のうち、特に優れたものを法務大臣が表彰しています。1984(昭和59)年に総務庁長官表彰(当時)としてスタートして以来、30年以上にわたって、全国から人権に関する各種資料を収集し、表彰しています。

今回は、2015(平成27)年度に全国の地方公共団体が作成した人権啓発資料から、1,388点が集まりました。

人権豆知識 特定の民族や国籍の人々への差別的な言動について

国連が1965（昭和40）年に採択した「あらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約（人種差別撤廃条約）」は、すべての人間が持っている人権を守るために、民族や皮膚の色などによる差別を含め、あらゆる形態の人種差別を撤廃することを定めています。

しかし、人種、民族に対する差別はいまだに存在しており、世界には、外国人を追放しようとする感情が高まっている地域も存在します。日本でも、特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的な言動が、いわゆるヘイトスピーチであるとして社会的に問題となっています。こうした言動は、人々に不安感や嫌悪感を与えるだけでなく、人としての尊厳を傷つけたり、差別意識を生じさせることになりかねません。

このような情勢の中、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（いわゆるヘイトスピーチ対策法）」が成立し、今年6月から施行されています。

また、法務省の人権擁護機関では、これまでの「外国人の人権」をテーマにした啓発（「外国人の人権を尊重しましょう」）に加え、こうしたヘイトスピーチがあってはならないという各種啓発・広報活動等に積極的に取り組んでいます。



(左) ポスター・リーフレットによる啓発活動の例

- 他にも、街頭ビジョンを活用した広告、交通（駅構内）広告、スポーツ組織と連携した啓発活動を展開しています。
- 法務省ホームページ内に特設ページが開設されており、ヘイトスピーチ対策法の外国語訳（英・中・韓）が掲載されています。

http://www.moj.gov.jp/JINKEN/jinken04_00108.html

法務省委託による人権啓発教材のPDFデータ公開のご案内

公益財団法人人権教育啓発推進センターでは、法務省の委託を受け、さまざまな人権啓発教材を制作しています。また、完成した教材（冊子、紙芝居）の内容をご覧いただけるPDFデータを人権ライブラリーのホームページで公開しています。是非ご活用ください。



公開中の教材の例



(紙芝居) ぼくのみもち きみのみもち



(冊子) 「いっしょに学ぼう！ 障害のある人の人権 ～パラリンピックへ向けて～」



(冊子) 人権啓発ワークショップ事例集 ワークショップをやってみよう 一参加型の人権教室



人権ライブラリーホームページの下の方に、「法務省制作 人権啓発教材」のボタンがありますので、こちらからPDF公開コーナーに移動することができます。

性的マイノリティに関する資料のご紹介

レズビアンやゲイ、トランスジェンダーといった性的マイノリティ（性的少数者）は、人口の3～5%と推定されています。今まで積極的に取り上げられることの少なかった性的マイノリティについて、現在、社会的な関心が高まっています。

また、同性パートナーシップ制度を導入した地方公共団体や、家族割引の提供を同性パートナーに拡大した企業の取り組みなど、多様な性のあり方を受け入れ、誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向けた動きが始まっています。

人権ライブラリーでは、こうした性的マイノリティに関する資料を貸出していますので、是非、ご利用ください。

DVD（映像）

性的マイノリティに関する人権啓発ビデオ

「あなたが あなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権」

（平成26年度法務省委託） 30分・字幕／副音声入り・「活用の手引き」添付

性・セクシュアリティはとても多様です。しかし、それを理解している人はごくわずかでしょう。そのため、性的マイノリティの多くが、生きづらさを感じています。誰もが自分らしく生きられる社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。

このビデオは、いま注目を集めている「性的マイノリティ」について人権の視点で理解を深めることを意図して企画されました。「LGBTQ」などの性的マイノリティについての基本的な情報および、典型事例のドラマと現状分析が収録され、入門編として最適です。

企画：法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

監修：宝塚大学看護学部教授 日高庸晴 制作：東映株式会社

このビデオは、インターネットの動画サイト「YouTube」でも無料でご覧いただけます。



法務省チャンネル

検索

図書

もっと知りたい！話したい！セクシュアルマイノリティありのままのきみがいい〔全3巻〕

- ①セクシュアルマイノリティについて
- ②わたしの気持ち、みんなの気持ち
- ③未来に向かって

日高庸晴 著、汐文社



ニュースなどのメディアで登場することも多くなったセクシュアルマイノリティ。子どもたちや、学校現場で対応を検討している先生方に向けての当事者インタビュー、基本情報やデータが盛り込まれています。

いろいろな性、いろいろな生きかた〔全3巻〕

- ②だれもが楽しくすごせる学校

渡辺大輔 監修、ポプラ社



「さまざまなセクシュアリティを知るための導入編」、「どんな学校なら、だれもが居心地よくすごせるかを考える学校編」「みんなが生きやすい社会にするために活動している人たちを紹介する社会編」の3つの視点から、いろいろな性、いろいろな生き方について考えます。

※第1巻、第3巻は今後の配架を予定しています。

「読み語り」開催のお知らせ

人権ライブラリーでは、絵本を通じて人権について考える「読み語り」を開催します。会場は人権ライブラリー・多目的スペースで、参加は無料です（なお、事前のお申込が必要です）。詳細は、ホームページをご覧ください。

「メオト読み絵本ライブ」（子ども向け） 講師：平田昌広さん、平田景さん（絵本作家）

2017（平成29）年1月19日（木） 13：30～15：00

「絵本コーチング 入門編・実践編」（大人向け） 講師：毛受譽子さん（絵本コーチング事務局代表）

①入門編 2016（平成28）年12月20日（火） 18：30～20：00

②実践編 2017（平成29）年2月20日（月） 18：30～20：00

※実践編は、昨年度までに絵本コーチングの講座を受講済み、または同等の知識のある方の受講を想定したコースです。

新着資料のご紹介

人権ライブラリーに最近配架された映像資料を紹介します。いずれも、当ライブラリーで貸出を行っています。

国際連合創設70周年記念 すべての人々の幸せを願って ～国際的視点から考える人権～

(平成27年度法務省委託)

35分・字幕(日本語・英語) / 副音声(日本語)入り・「活用の手引き」添付

人権の保護や促進に多大な貢献を果たしてきた国際連合創設70周年を記念して、このビデオでは、世界人権宣言及び国際人権諸条約が自分たちの身近にある人権課題とどのように関わっているかを国際的な視点から考えるために、4つの人権課題とそれぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介しています。

世界には、性別や人種、肌の色の異なる人々、大人や子ども、障害の有無など、一人ひとり違いを持ったたくさんの人たちが暮らしています。すべての人々が幸せに暮らせるように、私たち一人ひとりが相手の違いを認めつつ、同じ一人の人間として、相互に尊重し合うことの大切さを一緒に考えていきましょう。

企画：法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

制作：株式会社桜映画社

監修・解説：特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会 理事長 有馬真喜子(女性の人権)

関西学院大学国際学部教授 吉村祥子(子どもの人権)

岡山理科大学総合情報学部准教授 川島聡(障害のある人の人権)

同志社大学法学部教授 坂元茂樹(外国人の人権)



このビデオは、インターネットの動画サイト「YouTube」でも無料でご覧いただけます。

法務省チャンネル 検索

- オルシペ スウオブ [24分・2013年作品]
- オルシペ スウオブ2 [22分・2014年作品]
- オルシペ スウオブ3 [24分・2015年作品]
- オルシペ スウオブ4 [31分・2016年作品]

ユカラをはじめとした口承文芸(物語等)について、語り(アイヌ語と日本語訳)及び字幕(アイヌ語と日本語訳)を付けたアニメーション作品です。

企画・制作：公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

私たちのコンプライアンスⅢ 知らないではすまされない! 社会人の責任 [90分・2015年作品]

コンプライアンスの本当の意味と、社会人としての正しい考え方・行動をケースドラマとイラストを使った解説で学びます。

企画・制作：株式会社P H P 研究所

セクハラ・パワハラ その現状と防止対策 [115分・2015年作品]

どのような言動がセクハラ、パワハラになるのか、被害を受けたときどうすればよいのか、パワハラにならない指導法などをわかりやすく解説します。

企画・制作：アトリエエム株式会社

法務省人権イメージキャラクター



人KENまもる君

人KENあゆみちゃん

啓発活動重点目標

みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち
未来へつなげよう
違いを認め合う心～

人権ライブラリーのメールマガジンに 登録しませんか?

新着資料、講座のご案内など、最新情報をお知らせするメールマガジンを発行しています。(無料) 当ライブラリーホームページのトップページ上部の「メルマガ」ボタンをクリックしてください。簡単に登録いただけます。匿名での登録も可能です。

人権ライブラリー 検索

公益財団法人 人権教育啓発推進センター

人権ライブラリー

〒105-0012
東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4F
TEL.03-5777-1919 FAX.03-5777-1954
e-mail library@jinken.or.jp
URL http://www.jinken-library.jp/
開館時間 9:00～17:00
(土日、祝日、年末年始は休館)

交通のごあんない

※ご利用の際の利用者用駐車場はありません。



- JR山手線・京浜東北線「浜松町駅」
東京モレール「モレール浜松町駅」
(金杉橋口から徒歩7～8分)(北口から徒歩9～10分)
- 都営地下鉄三田線「芝公園駅」(A3出口から徒歩3～4分)
- 都営地下鉄大江戸線・浅草線「大門駅」(A3出口から徒歩4～5分)